富士河口湖高校同窓会だより

河高北陵館通信

Vol.27

山梨県立富士河口湖高等学校
同窓会事務局

〒401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町船津6663－1 TEL 0555-73-2511 FAX 0555-73-2513 http://www.mfi.or.jp/kawakou/

社会環境の変化があっても

同窓会会長　大石　秀一（二期生）

歴史を重ねて中核校に

河高は1977年4月の開校から33年、今春には31期生が卒業し、34期生が入学します。そして河高同窓会も本年7月の総会で31回を数えます。

河高は当初「新設校」と呼ばれ、自然に囲まれた落ち着いた学習環境であるプラスのイメージと、街中から外れた場所にあるマイナスイメージが交錯していました。しかし、卒業生の送り出しを重ねることに地域の中核的な人材を輩出する拠点として人々の心の中に根付いてきました。河高卒業生は地域で、そして国内外において充実した社会生活を営んでいるものと思います。

社会環境の不安定

ところで、一昨年発生した世界同時不況とその後の景気低迷、少子高齢化、政権交代をはじめとする政治変革、国家財政危機、年金、そして地球環境問題など、多くの課題が差し迫る不安定かつ不安感の強い状態にあり、従来の常識や慣例が通用しなくなり、新たな仕組みの模索や、転換が迫られてきています。河高の同窓生もそれぞれの持ち場・立場・家庭等において実感し、中には試練の最中の方もおられると察します。

しかし、悲観や落胆をしては将来に繋がりません。私達一人ひとりが腹を据えて立ち向かい、新たな社会の構築に参画していかなければならないと思います。河高同窓生の皆様が苦難や変革を果敢に乗り越えられますようにと祈るばかりです。

メインイベント『同窓会総会』

さて、同窓会は本部役員が基本的な運営を行っていますが、メインは毎年一回、7月に行う年次総会です。1999年の第20回総会より1期生から順番に、卒業後20年目の学年が当番幹事となり総会や記念行事の企画・運営を担当します。最近の記念行事としては、9期生による夜回り先生こと、水谷修氏の講演『こどもたちへ』、10期生によるアルピニストの野口健氏の講演「富士山から日本を変える」の実施、また昨年度の11期生は県産ヒノキの積み木を富士河口湖町の未来創造館に贈りました。

しかし、同窓会総会の記念行事に決まった形はありません。当番幹事の皆さんが会合や同級生の呼び集めを通じて同じ学び舎に過ごした仲間と旧交を温めつつこれからの鋭気や励みを得られたらと思います。さらに同窓会の当番幹事をきっかけにクラス会や学年同窓会を開催している年次もあります。今年は12期生の皆さんが当番幹事ですが、思い出に残る総会にして欲しいと思います。

最後に河高同窓生が地域や日本・世界の発展を担い・貢献し・幸せな生活を過ごせるようにと願い、結びとします。

仰峰不屈

校長　渡邊　芳信

河高同窓生の消息を中心としたこの「北陵館通信」は、毎年卒業式を機に、在校生にも配布されるのを恒例としています。特に在校生にとっては、諸先輩の近況とご活躍の一端を窺い知ることのできる機会と、大変興味深いのではないかと思っています。

旧聞になりますが、昨年7月4日、ホテル鐘山苑において、11期生の実行委員を中心とした同窓会総会並びに懇親会が開催されました。その席上、本校に対して物心両面に渡るご援助を賜りました。心から感謝申し上げます。当時の同級生や担任等と旧交を温める中、実行委員の表情からは、社会の中堅として活躍する誇りと自信のようなものが感じられ、その若さとエネルギーに圧倒される思いがいたしました。まますのご活躍とご健勝を念じたことでした。

さて、三月一日に本校を巣立つ31期生は、笛吹一学区、そして総合選抜廃止後初めての卒業生となります。自らの意志で本校を選択し、充実した高校生活を送ってきた若人たちであります。社会情勢が大きく変化する中、ひたすら自己実現を目指して同窓生の後に続こうとする前途有為の者たちに、先輩としてお願いするものであります。

本年度のオープンスクールで、私は未来の河高生たる中学生に向かって、次のような話をいたしました。

…学校選びのポイントは、次の三点に尽きるのではないかと思います。一つ目は、自分をその学校で試すことができるか。二つ目は、自分を伸ばすことができるか。三つ目は、自分を活かすことができるかどうか、ということです。

一般論として、学校選びのすべての場合に当てはまることですが、当事者の責務として、自戒の言葉にしたいと思います。いづれにしろ、「志を持って入学してきてほしい」という思いを伝えたかったのであります。

さて私ども教員は、ともすると三年間というスパンで、生徒を見がちであります。卒業後はどうしても学校と疎遠になってしまう、ということかもしれません。日頃多くの同窓生の皆様方にお目にかかる機会を得てみますと、そんな考え方を改めなくてはならないことを実感させられます。「仰峰不屈」の精神のもと、それぞれの分野において、使命感に燃え仕事に励んでおられるご様子に、改めて感服した次第です。河高はまだまだ若い学校です。しかしだからこそエネルギーと多くの可能性を秘めた存在であるということもできます。本校は地域に立脚した学校づくりを目指しておりますが、どうか同窓生の皆様の叡智と情熱を、学校運営の力としてご支援いただきたく、切にお願いするものであります。

第31回 同窓会実行委員長

渡邊　慎司

皆さんこんにちは、私は第31回富士河口湖高校同窓会実行委員長の渡邊慎司と申します。卒業してはや20年、同窓会の幹事をやるとは夢にも思わず少し戸惑いながらも同窓会の準備を進めているところです。開催日時や場所は7月31日、ハイランドリゾート予定しておりますので、12期生の皆さんにはふるってご参加いただき旧交を温めあっていただければと思っております。特に体型や様相が非常に変化している方、全然変わっていない方などいると思いますので懇親会はそれを確認するだけでも楽しみといえるでしょう。また同窓会を開催するに当たり、今回も各方面に協賛金のご依頼をさせていただきと思います。昨今の大不況により大変厳しい世情ですが同窓生及び関係各社の皆様方にはなにとぞ理解、ご協力いただければ幸いです。

最後になりますが第31回同窓会が無事開催されるには同窓会実行委員だけでなく在校生、OBの方々、先生方、関係者の方の協力なくしてはありえません。返す返すご援助、ご意見を多々いただき準備にいそしんでいきたいと思います。それでは7月31日にお会いしましょう。

「卒業が近づき」

31期　旧生徒会長　渡邊　佳資

私たち31期生が河高に入学してから、早くも3年が経とうとしています。この河高では良き仲間たちや先生方と数々の思い出を作ることができ、もう少しで卒業ということを考えるととても寂しく思います。

私たちは今、当たり前のように高校生活を送り、そして卒業し、新しい一歩を踏み出そうとしています。しかし、私たちが当たり前のように行っていることは、親や周りの人たちの支えがあってのもので、決して自分一人の力でここまでこれた訳ではないのです。卒業が近づくにつれてそういったことを思い返すと、たくさんの人への感謝の気持ちでいっぱいです。しかし、自分がそういった人たちの期待に応えられるような高校生活を送ることができたのかと考えることがあります。後悔もあれば、一方頑張ったと思える活動もありました。私は、生徒会長という立場で、たくさんの苦難を乗り越えることによって、責任感を養うことができ、また自負を持って行動することができました。これも皆さんの協力があってのものだと強く思います。

これから私たちは、今まで河高を卒業された方のようにOBやOGになりますが、いつになっても、河高が良い学校であって欲しいという思いは変わりません。後輩たちには、自分の目標をつつも多く持ち、その目標に向かって頑張っていって欲しいと思います。

そして、河高を良い方向へと変化させていって欲しいです。私たちも、この卒業をスタートにして、社会に出るために大人への道を一歩一歩踏みしめていきたいです。最後に先生方、3年間、ご指導ありがとうございました。

新生徒会長より

第32期　後藤　貴寛

三年の先輩方が河高を卒業していこうとしている。先輩達は今、どのような気持ちでいるのだろうか。今の私には全く想像ができない。だがその想像できない未来が、あと一年とすぐそこまで迫っている。みんなはその時、卒業を喜び、晴れ晴れとした気持ちで笑っているのだろうか、それもと後悔の念から涙を流しているのだろうか。それは誰にもわからない。だが一つ言えることは、今からの努力次第ということだ。

私たち32期生が河高に入って約二年が経った。短かったような気持ちであると思う。ある人は勉強、ある人は部活動、ある人は普通の生活と、皆が皆、色濃い学生生活を送っているだろう。それでこれからの一年間はもっと色濃いものになると思う。河高での最大のイベントといえば紫光祭である。今までの二年間は、先輩達のおかげで楽しめとても意義深いものになった。そんな楽しく文化的であり感動できる場を今度を私たちが創らなければいけない。さらに言えばもっと良いものにしなければいけない。それはもちろん私たちの一生に残る良い思い出にしたいという気持ちと、今までの河高を築きあげてきた31期までの先輩方が、河高を誇れる存在として認めてもらえるようにしたいという使命感からだ。

そのために生徒会では、紫光祭の事について前年度より早く取り組むことを決めた。これは時間を取ることで話し合いの回数を増やし紫光祭自体の内容をさらにもっと濃くするためだ。また、各クラスの準備期間を増やしたいといったことも考えている。このようなことを実行して、素晴らしいものを創り上げていきたいと思う。

私たちが、こういったような行事や普通の勉強・部活動などの生活が安心して送れるのは、保護者の方々がいるおけげだ。経済面に関してもそうだが、精神的な支柱となってくれていることが本当に大きいと思う。そのことを当たり前と思わずに、普段から感謝しなければいけないのだが、つい忘れてしまうこともある。そんな時も温かく見守っていて欲しい。来年のこの新聞を笑顔でみれるその日まで応援と協力をお願いします。

河高同窓会
ホームページを
是非ご覧ください。

今年の
同窓会総会・懇親会は
2010年7月31日(土)
開催決定!!